

に参加し、環境汚染の実態を互に学習し、又他の市民組織との情報交換を行ないつつ、自らの環境を守るための地道で着実な行動を起すことではあるまいか。

土浦の自然を守る会が組織されたのは、私達がこのよ
うな視点にたつた上で、土浦という地域に山積する私達
に身近かな問題を、互に考え、検討、討議しつつ、具体
的行動を起こしてゆくための市民の基盤となるためであ
った。

しかしながら、私達市民が、環境浄化のために出来る
ことは、このよりの市民運動に直接参加することにとど
まらない。私達には、もつと身近かな、日常生活の中で
出来るものがたくさんある。例えば、京都市の高野川を
きれいにする会では「ゴミやものを置かない、捨てない
流さない」の三ない運動を市民に呼びかけ、又、川崎市
の多摩川をきれいにする会では、家庭でなるべく洗剤を
使わないようにと呼びかけている。このような市民組織
の呼びかけは、直接運動に参加していない一般市民の協
力なくしては、全く意味のないものとなる。しかも、こ
のような市民の協力は、一見極めてささいで頼りなく見

え、地球全体の汚染防止には全く役に立たないようであ
るが、もし市民全体がこの呼びかけに協力したとしたら
それは想像もしなかつたよりの、素晴らしい結果を生み
出すにちがいない。自分一個の力では、どうにもならな
いことが、その目的に全市民でたちむかうことによつて
実現することができると。

そしてこのよりの市民の自覚は、いつまでも市民の段
階にとどまらずに、必らず企業を動かす、地方や国
の政策決定に影響を及ぼさずにはおかないだろう。

このよりに、一般市民が環境汚染防止のために、夫々
の生活の場から取り組むことは実に重要なことである。
しかし、その実行は極めて難かしい。

例えば、合成洗剤を使いなれた主婦が、その使用をや
め、昔ながらの油脂製の石けんを使うようになるために
は、合成洗剤の、人体や生物環境に及ぼす影響について
の十分な知識及びその公害とのつながりについての真剣
な考察、現代生活に対する深い反省などを抜きにしては
実行不可能なことであろう。(注・台所用の洗剤の主成
分は、アルキルベンゼンスルホン酸 略してABSと呼ばれる